

## 答 (古田タウンプロモーション室長)

町への観光客の数は、年間約8万人で推移しており時期としては、八百津だんじりまつりと、久田見糸きりからくりまつりのある4月、蘇水峡川まつりのある8月、産業文化祭が開催される11月には多くの観光客に来ていただいております。秋には栗きんとんなど味覚を求めてお越しになる観光客も多くみられます。

大河ドラマ館へ訪れた観光客の誘客についてですが、町には杉原千畝記念館があります。明智光秀の時代とは違いますが、杉原千畝氏も歴史上の偉大な人物であるため、杉原千畝記念館と大河ドラマ館を巡るルートを中心に、1年を通して各季節の町の魅力を盛り込んだコースなどを旅行会社などに提案し、誘客を図っていきたくと考えます。

八百津のお祭りの観光商品化等につきましては、町のホームページや観光協会のホームページなどへの掲載や、PR名称を今までの「八百津まつり」を「八百津だんじりまつり」に、「久田見まつり」を「久田見糸きりからくりまつり」に変え、インターネットで検索した場合などに、一目でどのようなお祭りなのか分かるようにして誘客を図っています。

しかし、まだまだ誘客が見込

める素晴らしいお祭りであると考えますので、ご提案でもあります旅行会社などへの売り込みを積極的に行っていきたいと考えています。

いずれにしても、町へ多くの方に来ていただくためには、今回の大河ドラマ関連だけでなく、町内の大きなイベントはもとより、誘客が見込める近隣のイベントと連携していくことや、建設中の新丸山ダムも大きな観光資源になることが期待できますので、各関係機関などに可能な限り積極的に働きかけをし、町の魅力を発信し続けることが重要であると考えております。

## 林 俊宏 議員



## 問 当町が取り組む2020年オリンピックピック聖火リレーについて

Q1 聖火リレーについて、限られた時間で、どのような計画で盛り上げられるのか、また、官民あげて取り組む重要性があり、近隣市町村への案内、当日における駐車場、移動手段、

交通規制などについての考えを伺う。

## 答 (市岡教育課長)

聖火リレーにつきましては、当初から岐阜県を通じてオリンピック組織委員会から内容の公表を制限されている事項が多く、お話しできる範囲でお答えさせていただきます。

聖火リレーは来年3月26日に福島県を出発し、121日間をかけて全国都道府県を巡ります。5番目の岐阜県は長野県から受け継ぎ、ランナーが4月4日、5日の2日間をつないで愛知県に引き継ぐものです。4日は、中津川市を出発し、多治見市、八百津町、郡上市、高山市の順で回り、5日は下呂市、各務原市、関ヶ原町、大垣市、羽島市を回り、岐阜市でリレーを終えます。

4日の当町では、鯉居地内の芦渡消防詰所をスタートし、人道の丘公園シンボルモニュメントにゴールいたします。当町の場合はルートが限られておりますので、必然的に国道418号から町道を経由し人道の丘まで走ることをご想像いただけると幸いです。

本町は、ユダヤ人の多くの命を救った外交官杉原千畝氏の出身地であり、杉原氏の行動の背景にある人道精神は、町の宝であり、現在そして未来に向けて主体的に守り継承していくものです。それを顕彰する場所とし

て人道の丘公園があり、この場所が聖火リレーのゴール地点となったことで、オリンピックが世界平和もめざしている平和の祭典であることを一層意識付けられるものと考えております。

今回、通過地として選ばれたことは非常に光栄なことであり、東京オリンピック・パラリンピックを最大限盛り上げる八百津町の聖火リレーにしたいと考えております。

千載一遇の機会ですから、できる限り大勢の皆様に応援していただきたく、スタート・ゴール地点や沿道への移動につきましましては、交通規制の関係もございまして、シャトルバスを運行する予定です。できるだけ早い段階からホームページや広報誌・広報やおつを通じて、聖火リレーの開催と交通規制について、広く周知をしてまいりたいと考えております。

聖火が到着する人道の丘公園では、県実行委員会が主催するミニセレブレーションを行い、聖火が郡上市へ出発した後は町が主催する記念行事を行う計画です。ここでは八百津中学校吹奏楽部と東濃実業高校吹奏楽部に演奏を依頼し、町内の児童生徒や八百津高校生も応援に参加します。進行役はNHK名古屋放送局の有田早紀アナウンサーに依頼し、聖火リレーを一層盛り上げる予定です。



聖火リレー出発予定地 (芦渡消防詰所)

## 安藤 峰行 議員

## 問 ふるさと納税について

Q1 ふるさと納税の今年の見通しと対策について伺う。また、返礼品の中で当町の特産品の割合と、当町在住者が他市町村へふるさと納税した金額を伺う。

## 答 (永田地域振興課長)

八百津町は、平成20年度からふるさと応援寄附金の受付を開始しております。平成27年度には2億円を超える寄附をいただきました。寄附金の維持のためポータルサイトを増やし、サイトの表示方法や掲載時期など工夫しつつ寄附受付を実施しておりますが、平成30年度は1億9千万円となりました。本年度は12月11日現在9,561件1億5千149万7千円となり、昨年の1.3倍のペースとなっております。